

の目でチェックをする事は不可能です。すべて機械に取り付けられているセンサーが良品と不良品の識別をしているところですが、性能が低下しますと不良品が市場に出回る事も残念ながらあります。いくら機械の性能が向上しましても、最終的にその性能発揮させているのは人です。メンテナンスとオペレーション技術が最終的に決め手となります。

現在、毎年この時期になると、たばこ増税の話が囁かれますが、増税となるとたばこ離れが加速し、私共の事業運営にも多大なる影響が出てまいります。今年は回避が正式に決定されましたが、喫煙者の皆様には引き続き我が社の製品をご愛用していただければ幸いです。出来れば外国たばこではなくJT製品のご愛用くださればありがたく存じます。

最後は会社PRの話となりましたが、この函館工場を全国に自慢できる工場にしたいと仕事に励んでおりますので今後とも商品のお買い上げを通じてご声援いただければと願っております。

(会報担当者：吉村 眞治 委員)

# あ、デイト JT

日本たばこ産業株式会社 函館工場

〒041-0801 函館市桔梗町403番地の2 TEL.0138-46-4711 FAX.0138-46-2837

(広告掲載：吉村 眞治 会員)

## ◎ 12月12日出席報告

会 員	56名	出席率対象会員	54名
		出席規定免除会員	2名
当日出席	38名	当日欠席	16名
他クラブ出席	7名	出席合計	45名
出席率	83.33%		

・テレホンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・1月16日	「新入会員卓話」
プログラム	日産火災海上保険(株)函館支社長 向井 隆司 会員



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2001~2002年度 国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長 リチャード D. キング

## 人類が私たちの仕事

## MANKIND IS OUR BUSINESS

薮下 義晴 会長テーマ 『楽しみと親しみのある出逢い・そして感動』



12月26日会員卓話 吉村 眞治 会員

## 《第1855回例会》 第25号 1月5日(土)

本日のプログラム

「新年恒例会」

一乃 松 午後6時から

★会 長 薮下 義晴 ★幹 事 藤野 明信

例会場:函館 国際 ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
 例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二チロビル4F TEL23-3870

## 12月26日の記録

◎司 会 藪下 義晴 会長 ◎斉 唱 手に手つないで

◎ビジター 函館五稜郭R.C. 大日向豊吉君

◎会長報告 藪下 義晴 会長

- 台北R.C. 20周年記念式典について。
- 2002~2003年第2510地区第11グループ ガバナー補佐を松見会員にお願いすることになりました。
- 退会挨拶 緒方俊二会員(12月26日で退会)

◎委員会報告

- 親睦活動委員会 成田 豊 委員長  
クリスマス家族会は皆様のご協力で無事終了しました。

◎幹事報告 藤野 明信 幹事

- 今年度のI.M.のご案内を致しました。2月24日午後2時点鐘で行われ、今年度は懇親会への出席も登録となりますので宜しくお願い致します。
- 和歌山城南R.C. 千葉港R.C.より会報が届いておりますので、回覧致します。

◎親睦活動委員会 川村 宏人 副委員長

## ニコニコBOX投入報告

- 藪下会長……クリスマス家族会ご苦勞様です。  
藤野幹事……クリスマス家族会ご協力が難うございます。  
阿相会員・大和会員……先週のクリスマス家族会親睦の皆様お疲れ様でした。  
森 会員……皆様よい年をお迎えください。  
成田会員・山下会員……クリスマス家族会皆様のご協力により無事終了することが出来ました。
- 佐々木会員・伊藤会員・小笠原会員・西尾会員・中川会員……BOXに協力。  
緒方会員(LL)……本日を持って退会となります。永い間お世話になりました。  
田畑会員……良いお年をお迎えください。  
藤田会員……先週の日曜日に手作りのログハウスの外装工事が完了いたしました。内装は来年に入ります。
- 南木会員……一年間有難うございました。  
山崎会員……今年度大変お世話になりました。来年もよろしくお願ひします。  
北村会員……今年一年間有難うございます。  
松橋会員・千葉会員……今年も終わりですね。ありがとうございました。  
来年もよろしく。

◎会員卓話 「たばこと私」 日本たばこ産業(株)函館工場長 吉村 眞治 会員  
函館に参りまして一年と八ヶ月が経過しました。生まれが大阪ですからまさか北海道勤務を経験するとは夢にも思っていませんでした。住んでみますと食べ物も新鮮で風光明媚な所が多く、非常に住みやすい町というのが印象です。出来ればもっと若い時に勤務をして、家族と共に住みたかったと思っています。今年は、妻と下の子供の3人で北海道旅行もしてきました。フェリーで苫小牧に上陸し、日高→襟裳岬→帯広→阿寒湖→摩周湖→網走→層雲峡→美瑛→富良野→札幌→洞爺湖→函館と約10日間の旅でした。

私は経歴でも紹介されましたとおり、たばこ一筋の人生をおくってまいりました。最長の勤務場所が本社という変わった経歴の持ち主でございます。本社ではたばこ製造部門の中長期戦略の策定や工場指導・支援という仕事が主でした。現在、函館工場長として仕事をしておりますが、本社にいた時に自分が考える工場運営の姿がありました。それを実践・実現すると言うのが、今最も力を注いでいるところです。具体的に申し上げますと、目標としては「競争力あるコストと品質を実現する」を掲げ、それを達成するために自主的・創造的な職場にしようと考えています。そのためには、目標と情報を共有化し一人々が自分の役割・責任を認識し、実行する事が大切です。また、現在の変化のスピードは目覚ましいものがあります。チャールズ・ダーウィンの言葉に「最も強いものや最も賢いものが生き残るのではない。最も変化に敏感なものが生き残る」という言葉があります。当工場の社員には、そのために大切なのは「如何に変化に敏感に適応するか」、機会を作っては、この様な事柄を社員に話しているところです。

函館工場も現在の桔梗町で操業を開始したのが、昭和47年10月ですから来年で操業30周年を迎える事となります。専売公社から日本たばこ産業(株)の会社化以降でも16年が経過しようとしています。大きな組織ですから舵を切っても動き出すまで時間がかかるのが欠点でございます。当工場もややもすると以前はこうだったとか前例に拘るところが時々出ます。それを要するには先ほどの話とも関連しますが、徹底した情報発信と現在の位置付けを明確に伝える事が重要と考えています。そのために工場トップの意思をビジョンと言う形で語る事を心掛けています。現場の責任者にも、自分のビジョンを語れと言っています。「自分たちのボスが何を考えているのか解らなければ現場の人はついて来ないよ」とも言っています。要は如何に情熱と信念を持って接しているかだと思います。この12月にはISO9001(2000年版)の認証取得も致しました。現在の私共の工場はお蔭様で全国一、品質を含め諸実績の良い工場として操業しております。

JTのPRを少しさせて下さい。今、テーブルに置いてありますのは新技術の開発から生まれた「エアーズ」というたばこです。たばこの先から出る煙を低減させたたばこです。現在、北陸の石川、新潟、富山、福井各県で限定販売をしています。14本入りで300円。レギュラーとメンソールの2種類を持参しましたので吸ってみてください。残念ながら函館では販売しておりません。私共の新技術として製品化する機械を紹介すると、現在最速の機械は1分間に14,000本(700個)製造します。お客様一人が一日一箱喫煙するとして一年間の消費量を30秒間で製造します。たばこの製造スピードで表現しますと、毎分840メートル(毎秒14メートル)の速さとなります。これだけのスピードになりますと人間